



安原の  
いま

総人口 4,597人 (前年比-49人) 【男 2,221人 女 2,376人】  
安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701

### 安原地区公民館・福祉ひろば 年末大掃除

12月12日、安原地区公民館の利用者団体「あさひ会」が公民館と福祉ひろばの年末恒例大掃除を行いました。毎年12月に実施しており、普段手が届かないところを、あさひ会の皆さんが1年間の感謝の気持ちを込めてきれいにしてくれています。

今年も、コロナ禍にも関わらず59人の方が参加しました。最初に説明を聞いた後、各部屋に分かれて大掃除の開始です。窓の棧や棚の中などを重点的に掃除しました。高い所は信大生が率先してやってくれます。また、庭の植栽の手入れも行いました。



階段を丁寧に掃除するあさひ会の皆さん

最初、説明を聞いた後、各部屋に分かれて大掃除の開始です。窓の棧や棚の中などを重点的に掃除しました。高い所は信大生が率先してやってくれます。また、庭の植栽の手入れも行いました。



図書コーナーに本を収める図書委員

## 安原地区人権啓発推進講座 「元気がもたらえる演奏会」



演奏に合わせて歌い踊る楽団ケ・セラのメンバー

令和2年11月28日土曜日、安原地区人権啓発推進講座室内研修として、楽団ケ・セラを招きコンサートを行いました。この楽団メンバーは、障がいを持った人たちが構成されています。

主催の安原地区人権啓発推進協議会の保科守安会長は冒頭のあいさつで「今朝、人権に関する事柄を見聞きした。それは、人種差別・感染症との付き合い方・そして人と人の絆についてだ」と話しました。

楽団について、NPO法人ケ・セラの大槻恵子さんが「演奏メンバーの年齢は18歳から30歳代後半。全員がダウン症とか自閉症の人たち。音楽を通じて社会での自立を実現することを目指す。法人としては社会福祉を、健常者も障がい者も同等に生活し共にいきいきと活動する社会を目指す」と紹介しました。

### 「図書コーナー本の入れ替え」 中央図書館から600冊

安原地区公民館の図書コーナーの本の入れ替えを、図書委員5人と職員2人が11月19日に行いました。本の入れ替えは5月と11月の年2回実施しています。

今回はコロナの下、自宅での読書の機会も多いだろうと、いつもより100冊増やして600冊の本を中央図書館の書庫から借りることができました。



# 旭町小学校6年生 安原地区歴史まち歩き

旭町小学校6年生66人が12月10日、コミュニティースクールで「安原地区歴史まち歩き」を実施しました。講師として安原地区歴史研究会の矢野喜世登会長と金岩博司副会長が務めました。

旭町小学校近辺は、城下町の町割りが色濃く残っており、高名な方々の生地でもあります。矢野会長は「町の中にはたくさん歴史があります。普段町の中を歩いていて気がつくなくても、この機



講師の説明を真剣に聞きます

ときに驚きを持って町を見てほしい」と町に寄せる愛着を語っていました。宝栄寺、袋町の鍵の手、常法寺小路、十王堂跡等を学級毎に歩いて回りました。

最後に江戸時代の武家住宅の形式をよく残している建物で、県宝に指定されている橋倉家住宅を見学しました。子どもたちは大戸口から土間へ、履物を脱いで「なかのま」から「かみざしき」へ入って来ると「わあすごい」「やばい、ひろい、ひろい」「畳がある」と正座したくなるね」と口々に言いながら正座をしている子もいました。

帰りに子どもたちは「自分

の町なのに知らなかったけど、教えてもらってよかった」「昔と今とを比べると違うんだなあと思った」と感謝を言葉にし、体験したことが心に残ったようでした。



井戸に興味津々な児童たち

## ママのパン教室



たっぷりクリームを包むコツに挑戦

11月24日、安原地区公民館と福祉ひろば共催の「子育ての集い・ママのパン教室」が開かれました。子育て真っ最中のお母さん方に、お子さんを預けて安心してパン作りを集中してもらおうことを目的にした託児付きの講座です。隣接する部屋で地区の役員と、ひろば職員がお子さんに絵本を読み聞かせたり、お絵かきして遊び相手になりました。

今回は講師の高梨雅子先生の指導のもと、6人のお母さんが参加してクリームパンと旬のサツマイモを使ったスイートポテトを作りました。パン生地クリームを包むコツや、発酵時間の有効な使い方もお母さん方もしきりに聞いていました。

約2時間後、カスタードクリームがたっぷり入ったクリームパンとスイートポテトが焼き上がり、待ちかねたお子さんたちと一緒に、試食会となりました。お母さんの膝に座って小さな口いっぱい頬張る子、お母さんの分まで平らげる子もいて、賑やかな



上手に焼けました

## いちよう並木

艶のあるフキに似たツワブキは食べられる

光沢のある常緑の観葉植物として、庭園の下草に役立つキク科ツワブキ属の植物です。艶葉路(つばき)からツワブキと名がつけました。葉柄のキャラブキは珍味で美味しいです。

葉効もあり、はれ物や湿疹に葉を火であぶり張り薬として、また、魚の中毒に、葉茎を煎じたものや絞汁を飲むと効くと重宝されてきました。半日陰を好み水はけの良い用土に育ち、株分けで増やすことができます。遅効性の肥料を少量与えてください。

秋の終わりから初冬にかけて黄色い菊に似た花をつけます。葉形、葉芸があり、艶のある濃い緑の中に黄色、白色等の模様をもつ種もあります。



食べても美味しいツワブキ